

RYOBI

®

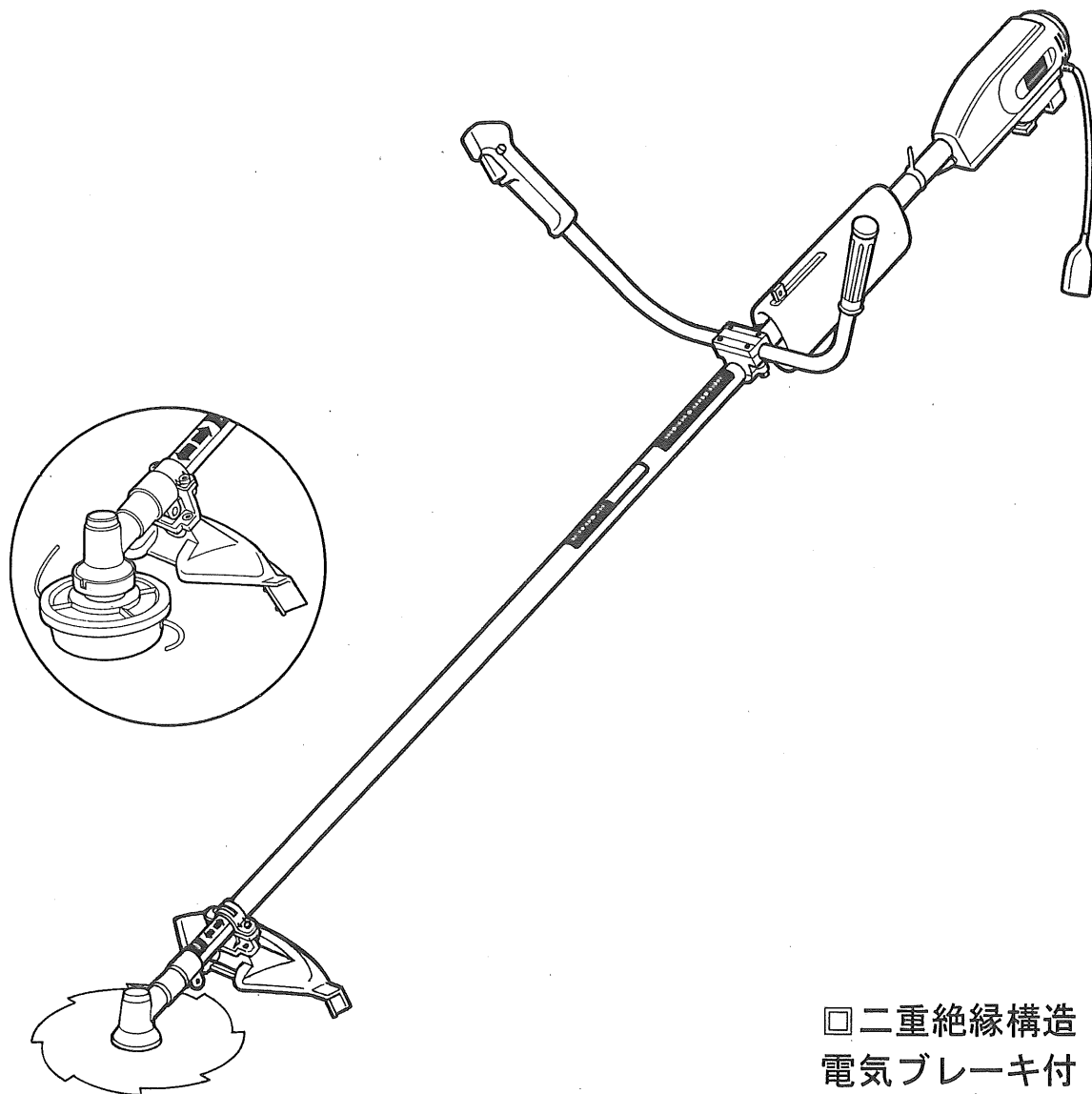
電気刈払機

AK-550

取扱説明書

このたびは、リョービ電気刈払機をお求めいただきまして、
まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度
お読みください。



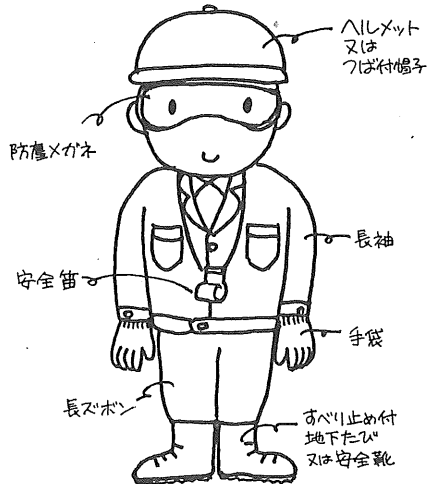
□二重絶縁構造
電気ブレーキ付

●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

使用上のご注意

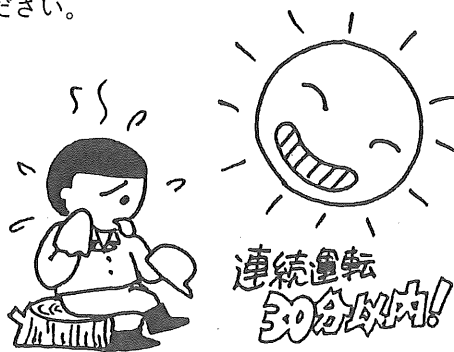
●作業時の服装

- すそじまりのよい長袖の上衣、長ズボンを着用ください。すそのひらいたものは危険です。
- 安全のため、目、手、足に保護具を着用してください。



●暑熱、寒冷、雨天等の環境下の安全

- 暑熱、寒冷時の作業では安全のため、長時間の連続作業はさけ、十分な休けいをとってください。

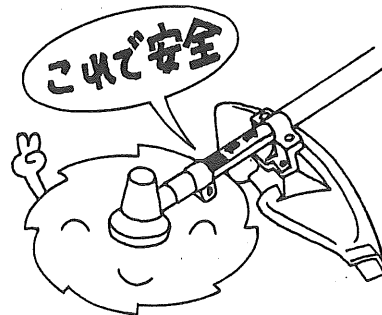


- 湿気は、モーターなどの電気絶縁性を低下させ、感電事故のもとになります。雨中、濡れたところでは、絶対に使用しないでください。



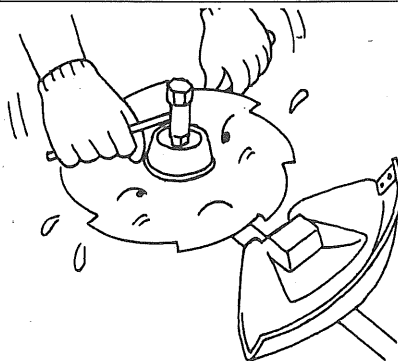
●作業前の点検

- セーフティカバーは使用する刈刃の種類にあわせ、正規の位置に必ず取付けてください。

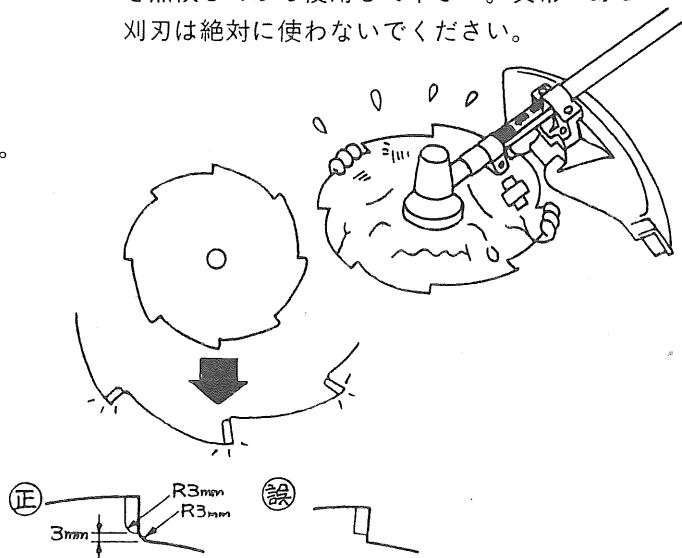


- 作業前には必ず各ねじ部がゆるんでいないか、また脱落等不具合がないか調べてください。

特に刈刃取付ねじが確実に締まっているか確認してください。緩んでいる時は確実に締付けてください。



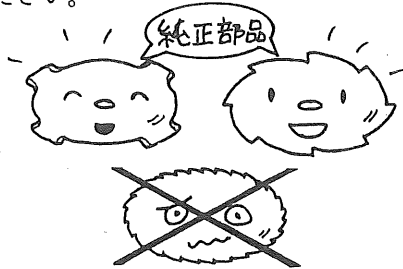
- 刈刃はよく目立されたものを使用してください。
- 刈刃を目立するときは、割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。
- 刈刃に欠け、ひび割れ、まがりなどがなければ点検してから使用して下さい。異常のある刈刃は絶対に使わないでください。



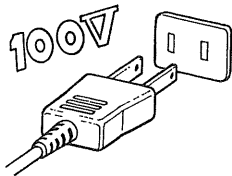
- 刈刃を締付け後、手で回して、振れ、異常がないことを確かめてください。振れがあると回転中異常な振動がでます。異常のある場合、刈刃がブレードホルダーにはまってないことがあります。



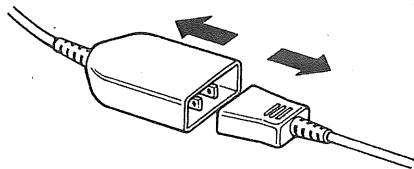
- 交換部品は全て当社純正部品を必ず使用してください。



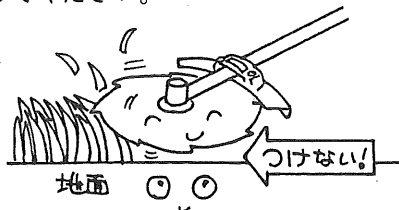
- 電源は必ず単相100Vの電圧でお使いください。100V以上の電圧で使用されますと回転が高くなり大変危険です。また逆に低い電圧で使用されますとモーターの故障の原因となります。



- 草刈り作業を行なう時以外は、必ず電源プラグを抜いておいてください。

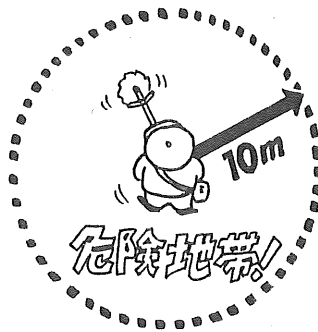


- スイッチを入れるときは、刈刃が地面からはなれていることを確認し、刈払機をしっかりと持ってください。



●作業時の注意

- 作業中は半径10m以内に他の人を近づけないでください。



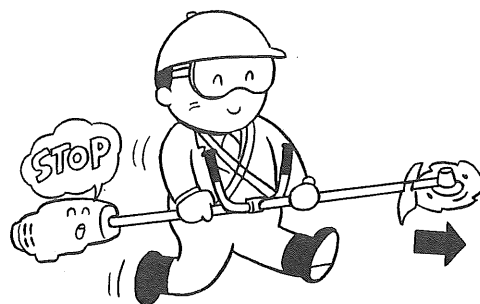
- 作業は急がないで常にゆとりをもって行ってください。



- 作業中はハンドルをしっかり握って、両足には平均に体重がかかるよう、適当に開いてください。



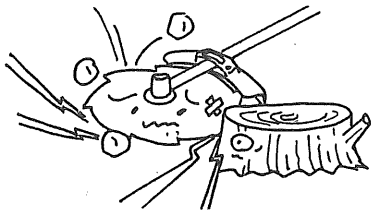
- 作業を中断したり、移動するときはモーターを停止して持ち運びは刈刃が前になるようにしてください。



- 草刈用4枚刃、8枚刃はいずれも草刈専用です。木や枝などは、絶対に切らないでください。



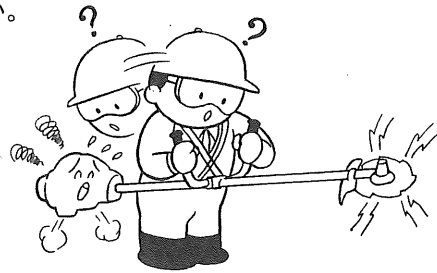
- 作業中刈刃を石や切株に当てないように注意してください。もし、これらに当たった場合は、モーターを停止して刈刃に異常がないか点検し、欠け、亀裂があれば交換してください。



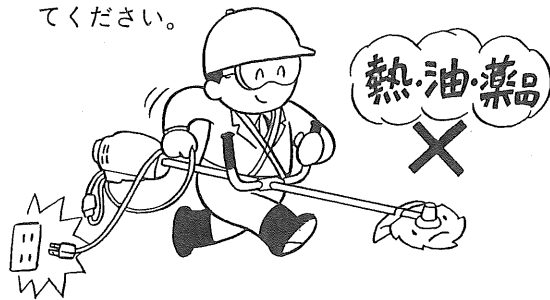
- 作業中は安全笛を携帯するようにしてください。



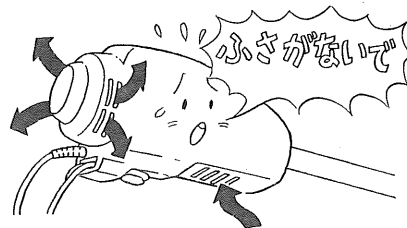
- 運転中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合は直ちに作業を中止してください。



- コードを持って運んだり、コードを引っ掛けてプラグを電源から抜いたりしないでください。また、コードを熱・油・薬品およびコードを傷つけやすいものから保護するようにしてください。

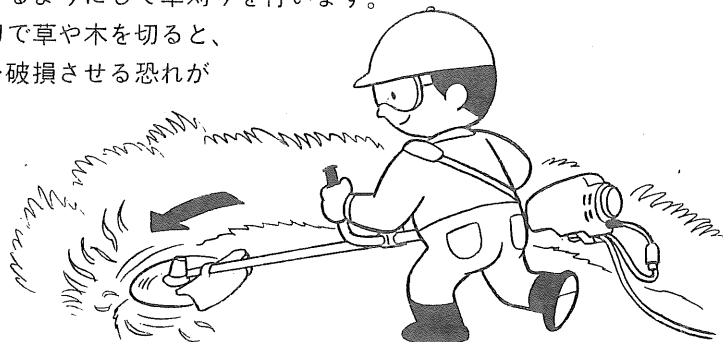


- 本体モーターハウジング部の風窓は、モーターの冷却に必要な部分です。もしふさいだりしますと、モーターの焼損の原因となりますので、絶対にふさがないようにしてください。

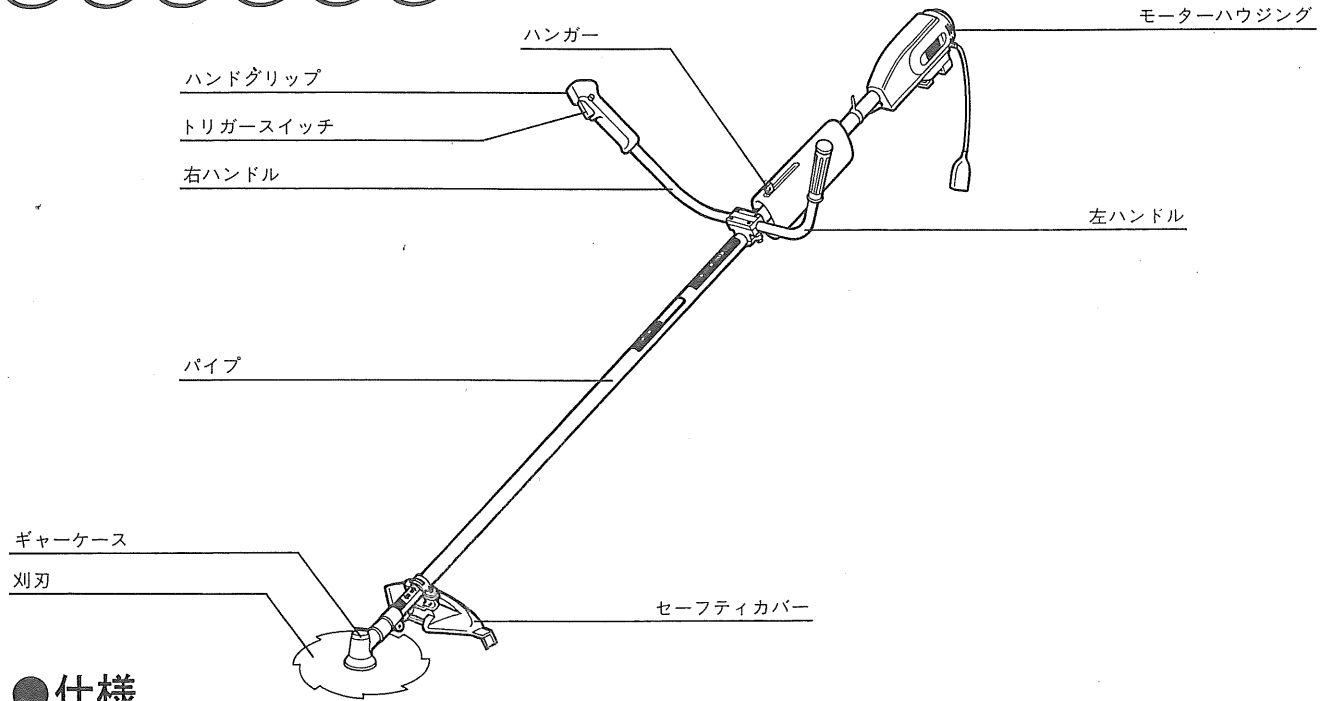


●基本的な作業

- 肩掛けハンドルを身体に合わせて長さを調節し、吊金具に本機をとりつけます。
- ハンドルを両手でしっかり握り、片足を一步踏み込んで(刈刃の回転方向に合わせて)体重の移動が安全で容易な体勢を作ります。
- トリガースイッチを引き、刈刃の回転が十分上がってから草刈り作業を開始します。
- 操作桿だけを振り回さず腰の回転によって操作しますがこれについて刈刃が左回転のため右から左に移動するようにして草刈りを行います。
- 間違った刈刃や指定サイズ以外の刈刃で草や木を切ると、本機のシャフトや、アウターパイプを破損させる恐れがありますのでご注意ください。



各部のなまえ



仕様

型 式		A K - 5 5 0	
仕 様		ブレード	ナイロンカッター
刈払装置	刈 刃 (mm)	8 枚刃(φ230×φ25.4×1.4 t)	ナイロンコード φ2.4
	刈刃回転数(r.p.m.)	7,800	7,000
	操 作 ハ ン ド ル	両手ハンドル	
モーター	電 源 (V)	単相 100	
	周 波 数 (Hz)	50/60	
	消 費 電 力 (W)	550	
	絶 縁 構 造	二重絶縁構造	
	ブ レ ー キ 式	電気式	
寸 法	長さ×幅×高さ(mm)	1830×615×436	1790×615×425
※ 重 量	(kg)	3.8 (4.9)	3.8 (4.7)

※記載重量には、刈刃、刈刃カバー、セーフティカバー組立、左ハンドル、ショルダーバンドを含んでおりません。
()内は、延長コードを除く全装備重量です。

- 通常付属品 ●⊕ドライバー付ソケット ●六角棒スパナ(5mm) ●六角棒スパナ(4mm) ●スパナ
●コードストラップ ●ナイロンカッター ●ブレード(8枚刃φ230mm) ●刈刃カバー
●ショルダーバンド ●延長コード10m

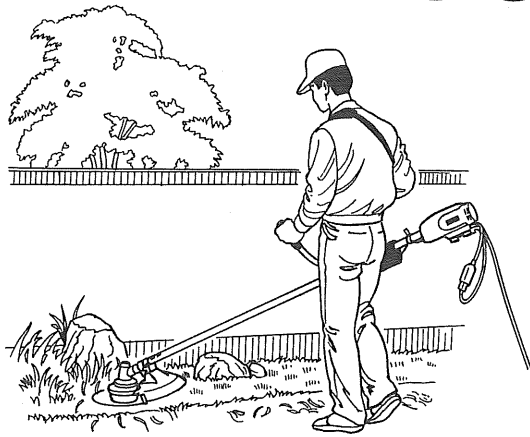
●特別付属品(別販売)

- チップソー
山林の下刈用
- 4枚刃
やわらかい雑草用
- ブラカッター
やわらかい雑草から、芝生の刈込み用
- ナイロンコード
直径φ2.4mm×6m

●刈刃適応表

種類	チップソー	8枚刃	4枚刃	ブラカッター	ナイロンカッター
用途	φ200	φ230	φ230	φ230	
下 刈	○				
雑草刈		○			
雑草刈			○		
芝 刈				○	○
際 刈				○	○

ナイロンカッター使用例



《縁石や塀などの際刈り》



《立木のまわり》

使用準備

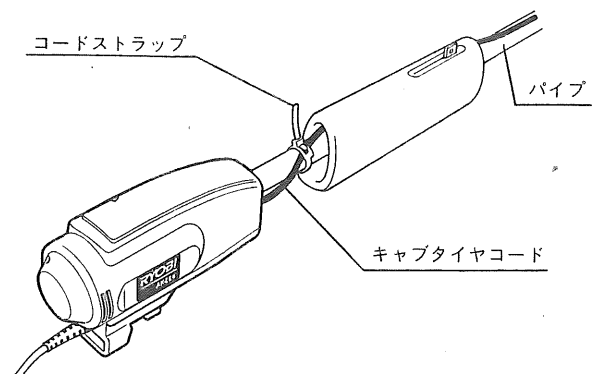
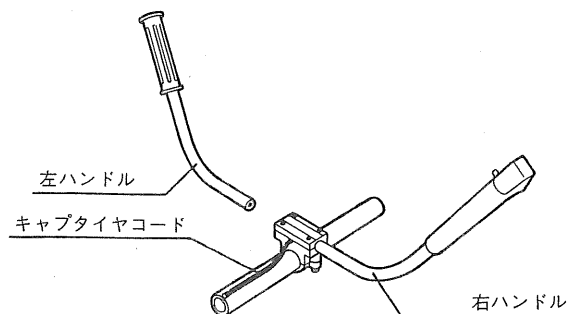
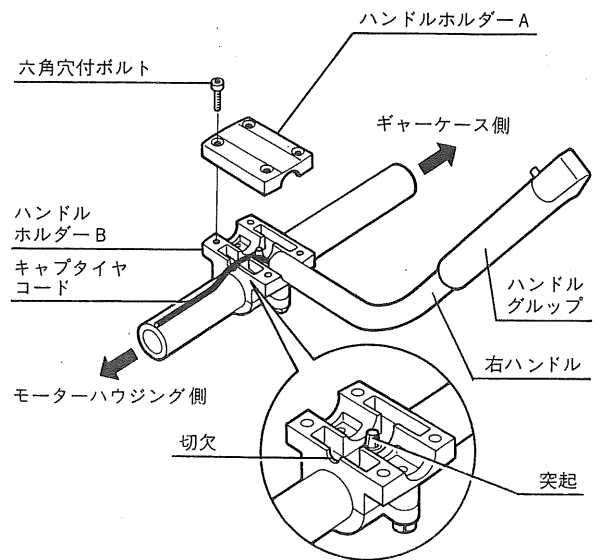
●ハンドルの取付け

- ハンドルホルダーの4本の六角穴付ボルトをゆるめ、ハンドルホルダーAを取りはずしてください。
- ハンドルグリップの付いた右ハンドルをモーターハウジング側から見て、向って右側にします。
- 右ハンドルのパイプ穴より出ているキャブタイヤコードを、ハンドルホルダーBの切欠に添わせませす。
- 右ハンドルのパイプ先端が、ハンドルホルダーBの突起に当たるまで入れ、ハンドルホルダーAを六角穴付ボルトで仮締めします。

(ご注意)

- ハンドルホルダーAを仮締めする場合、キャブタイヤコードをはさみ込まないように十分注意してください。
- 左ハンドルも右ハンドルと同様にハンドルホルダーBの突起に当たるまで入れます。
- ハンドルの角度を使い易い位置に調節してから、再度六角穴付ボルトを均等にしっかり締付け、ハンドルを固定します。

- ハンドルの取付けができれば、付属のコードストラップでキャブタイヤコードをパイプに添わせ締付けてください。



ブレード(4枚刃・8枚刃・チップソー・プラカッター)使用時

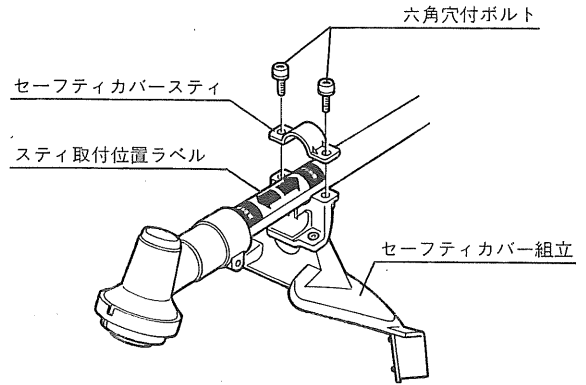
●セーフティカバーの取付け

[ナイロンカッター使用時と取付け位置が異なります]

- セーフティカバースティは、スティ取付位置ラベルのステールブレード使用時側(黒色)の「取付位置」の文字がかくれる位置としてください。
- セーフティカバー組立とスティを2本の六角穴付ボルトで均等に締付けて固定します。

(ご注意)

セーフティカバーの取付位置を誤った状態で使用すると、安全な作業が行えないため、必ず正規の位置に取付けて作業してください。



●ブレードの取付け方法

- 付属の六角棒スパナ(5mm)を、ギヤケースとドライブブッシングの固定用穴に通し固定して、軸が回らないことを確認してください。
- 付属の⊕ドライバー付ソケットを使い、図の矢印方向(時計回り)に回し、押えボルト(左ネジ)を緩めてください。

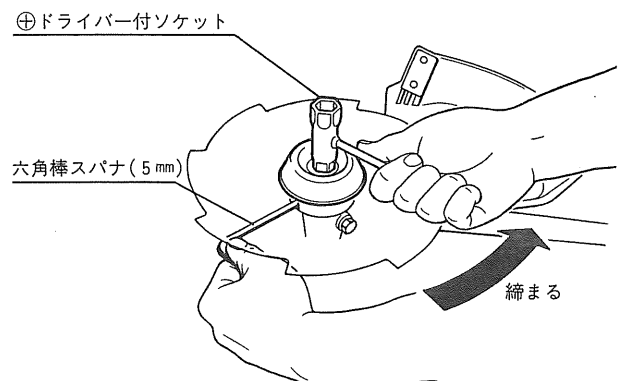
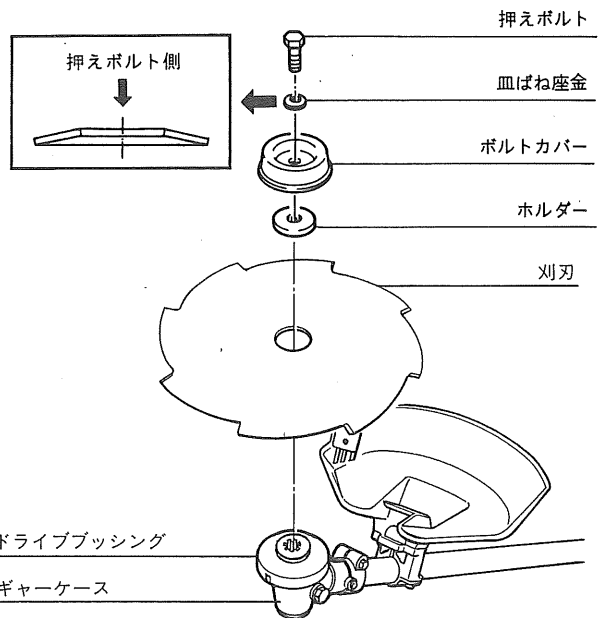
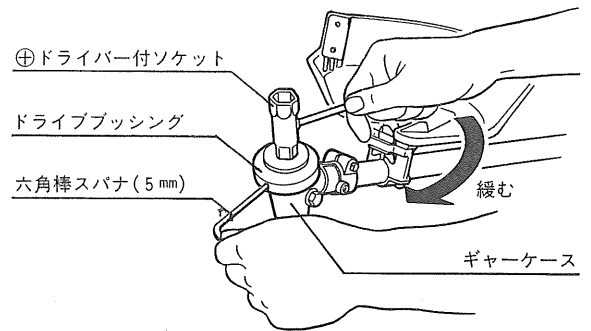
(ご注意)

押えボルトは緩み防止のため特別な加工がしてあります。最後まで付属工具(⊕ドライバー付ソケット)を使って緩めてください。

- ブレードは、右図の順に取付けます。
 - 図の矢印方向(反時計回り)に締付けてください。
- ※参考締付トルク 1.5~2.0kgf・m

(ご注意)

締付け・ゆるめのためソケットを操作する時は、刈刃の刃先に十分注意してください。



作業前・刈刃交換時には、押えボルトが確実に締まっているか必ず確認してください。

ナイロンカッター使用時

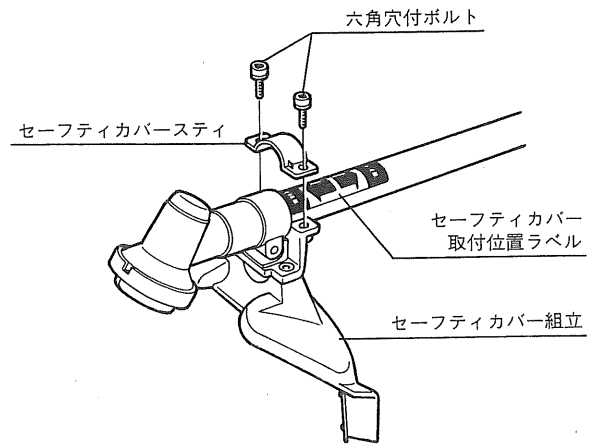
●セーフティカバーの取付け

〔ブレード使用時と取付位置が異なります〕

- セーフティカバーステイは、ステイ取付位置ラベルのナイロンカッター使用時側(赤色)の「取付位置」の文字がかくれる位置としてください。
- セーフティカバー組立とステイを2本の六角穴付ボルトで均等に締付けてください。

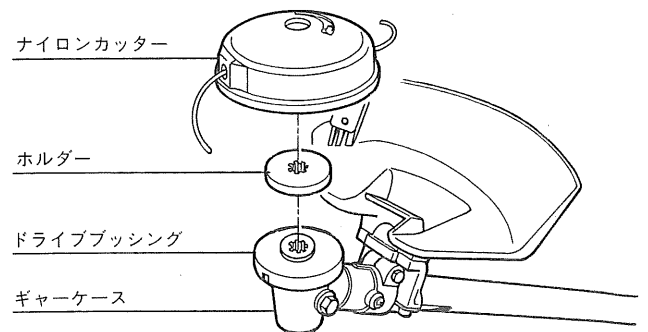
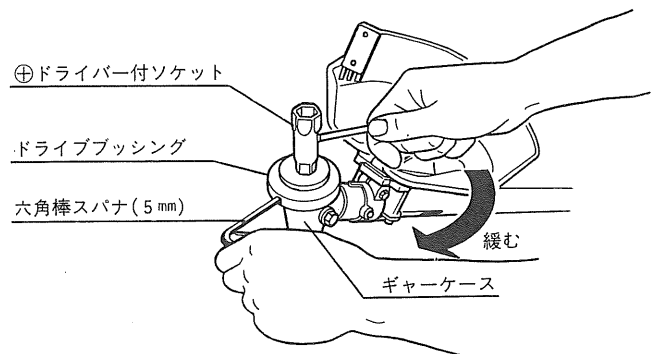
(ご注意)

セーフティカバーの取付位置を誤った状態で使用すると、モーター焼損の原因となります。必ず正規の位置に取付けて使用してください。



●ナイロンカッターの取付け方法

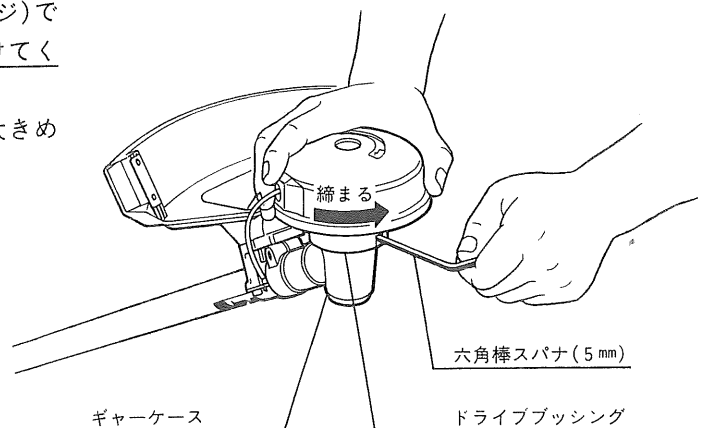
- 付属の六角棒スパナ(5mm)を、ギヤケースとドライブブッシングの固定用穴に通し固定して、軸が回らないことを確認してください。
- 付属の⊕ドライバー付ソケットを使い、図の矢印方向(時計回り)に回し、押えボルト(左ネジ)を緩めてください。
- ナイロンカッターは、右図の順に取付けます。



- ナイロンカッターに取付けてあるボルトは逆ネジ(左ネジ)です。図の矢印方向(反時計回り)に手でしっかりと締付けてください。

※ボルトは緩み防止のため特殊な加工がしてあり、少し大きめの締付力を必要とします。

※参考締付トルク 0.8~1.2kgf・m



ご使用方法

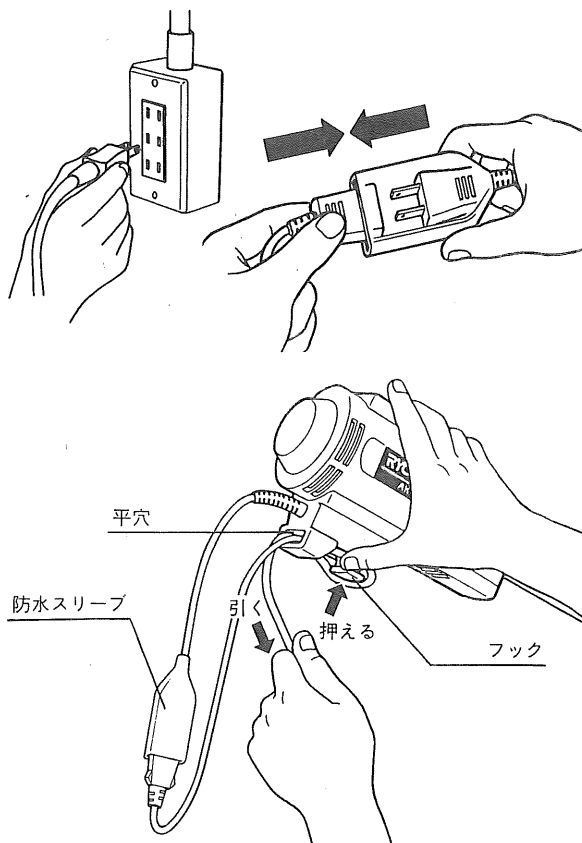
- 延長コードのプラグを、単相100Vの電源コンセントに差し込んでください。

(ご注意)

- 単相100V以外の電源は使用しないでください。
- 延長コードは、付属のものを使用し、不足の場合は十分な太さのものを最低限の長さでご使用ください。お使いになるコードが長すぎると、電圧が下がり、作業能力が低下すると共に、モーターの故障の原因となる事があります。
- 延長コードのコネクター先端より25~30cmくらいのところで軽く折り曲げ、モーターハウジング下部の平穴へ挿入します。次に折り曲げた先をフックに引っ掛け、軽く引くとコードが固定されます。
- 本体電源コードの電源プラグを、延長コードのコネクターに差し込んでください。

(ご注意)

- プラグの接続部分は、防水スリーブでおおうようにしてください。

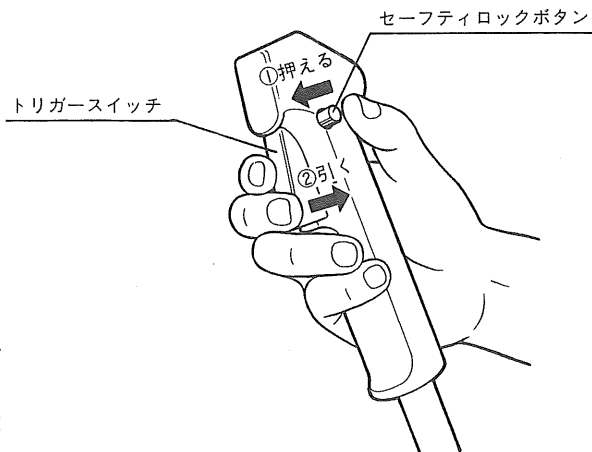


● 運転

- 本機は安全のためセーフティロック機構を採用しています。セーフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- スイッチ操作はセーフティロックボタンを押さえた状態でトリガースイッチを引けば、スイッチは入ります。切るときはトリガースイッチを離すとスイッチは切れます。

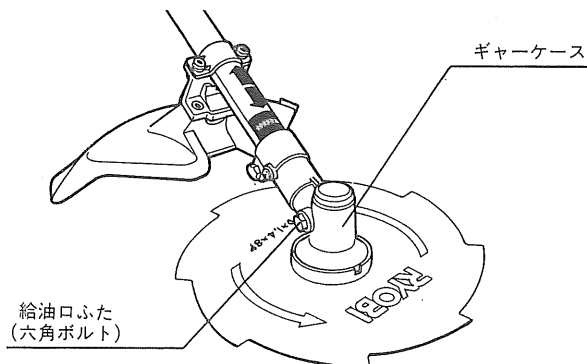
(ご注意)

- 電源プラグを差し込む前に、必ずスイッチ動作を行ない、トリガースイッチを離したとき、元の位置にもどる事を確認してください。
- トリガースイッチをテープや針金等で固定して使用する事は絶対にしないでください。



● ギャーケースへの給油

- 使用経過50時間前後に給油口ふたの六角ボルトを外し、給油してください。(グリス#2を使用してください。)



●ナイロンコードの引き出し方法

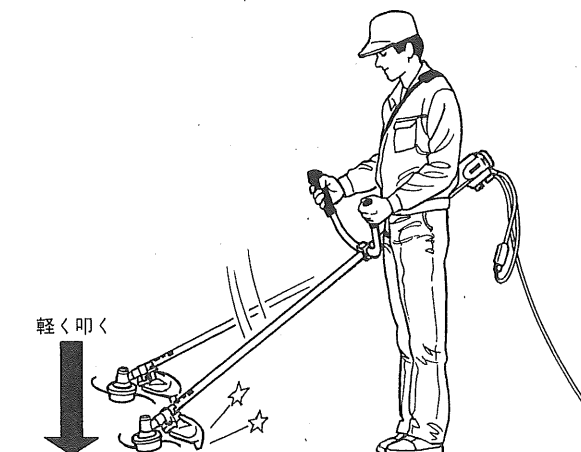
作業中ナイロンコードを引き出したい時は、次のように行ってください。

1. スイッチを放し、ナイロンカッターを停止させます。
2. ナイロンカッターの底面を地面にはずませるように、2～3回軽く叩き付けます。
3. スイッチを入れるとナイロンカッターが回転し、ナイロンコードが自動的に繰り出されます。

※ナイロンコードが出ない時は、再度上記作業を繰り返してください。

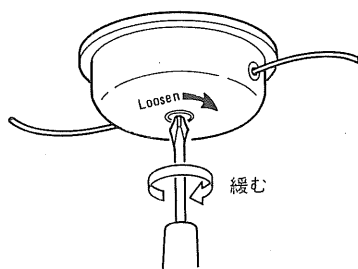
(ご注意)

- スイッチを入れたままでのナイロンコードの引き出しは、ナイロンコードが出にくいばかりでなく、石や砂などを飛ばす恐れがあり危険です。
- ナイロンカッターの底面をコンクリートや石などの硬いものに叩き付けしないでください。ナイロンカッター破損の原因となります。
- ナイロンコードが長く出過ぎても、セーフティカバーに付いているカッターで自動的に長さを調節します。



●ナイロンコードの取り替え方法

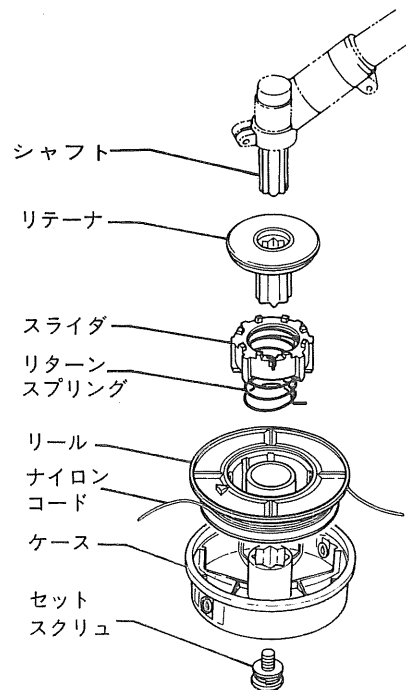
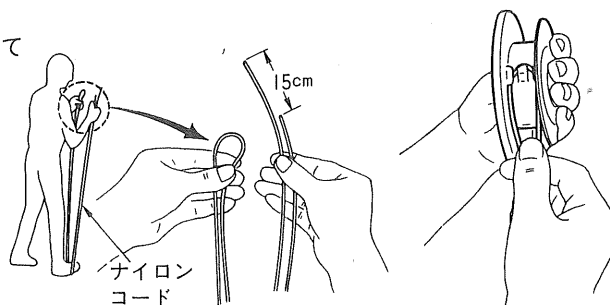
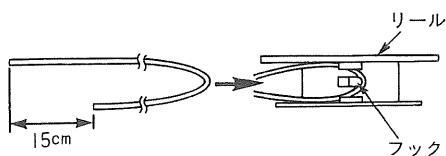
- ナイロンカッター先端のセットスクリュを矢印方向(時計回り)に回して外してください。



- セットスクリュを外すと図のように分解できます。
- ナイロンコードをリールに全部巻き取ってください。
- 短くなった古いナイロンコードをリールから外してください。

《直径φ2.4mm(丸断面)長さ6mのナイロンコードを用意してください。》

- 新しいナイロンコードの両端を15cm位ずらした状態で、中央部を折り曲げてください。
- 中央部の折り曲げたところをリールのフック部に引っ掛けてください。

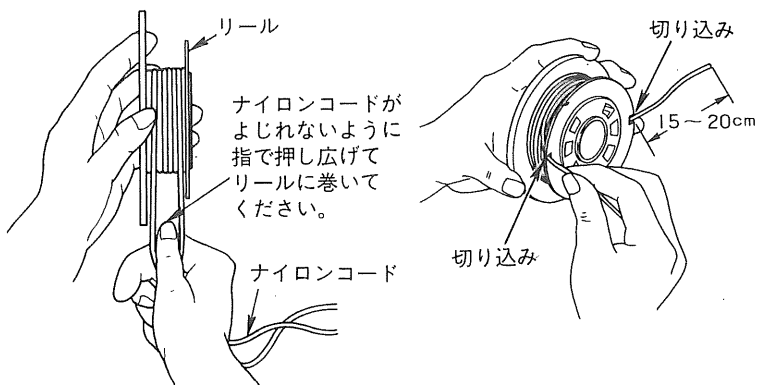
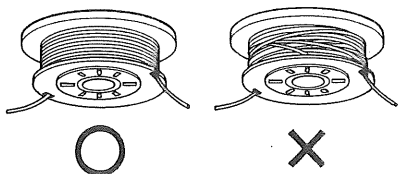


- ナイロンコードをリールに巻き込むとき、ナイロンコードがよじれないように同一方向に巻いてください。

- 巻き終えたナイロンコードの先端を15~20cm位残し、リールの切り込みにそれぞれコードを挟み込んでください。

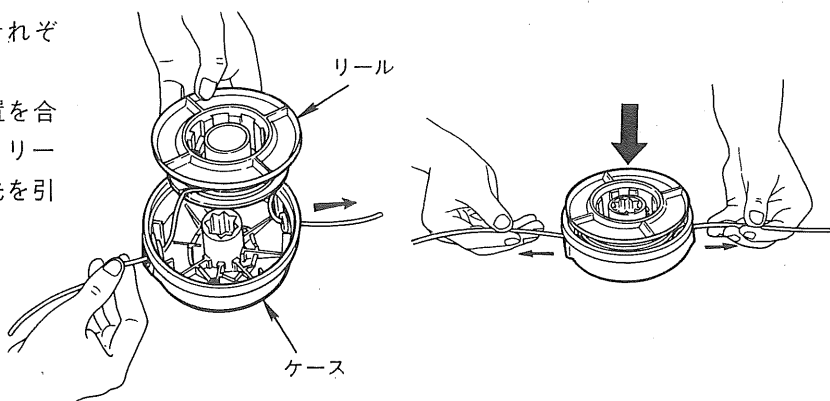
(ご注意)

ナイロンコードがよじれていると出なくなります。

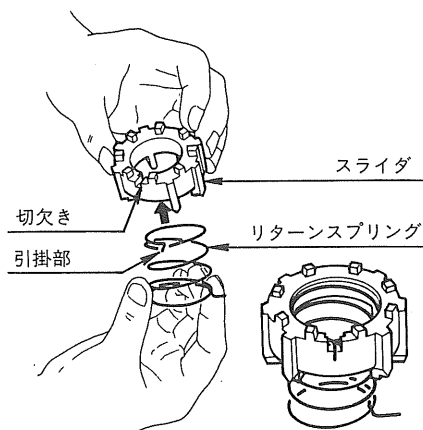


- ナイロンコードの両端をケースの穴にそれぞれ通してください。

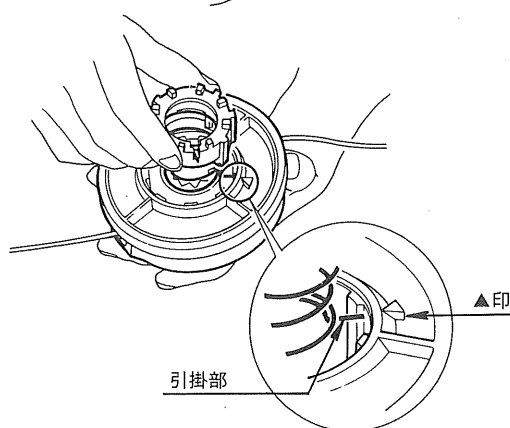
- リールの切り込み部とケースの穴の位置を合わせて、リールをケースの軸に挿入し、リールを軽く抑えながらナイロンコードの先を引っ張るとリールが完全に納まります。



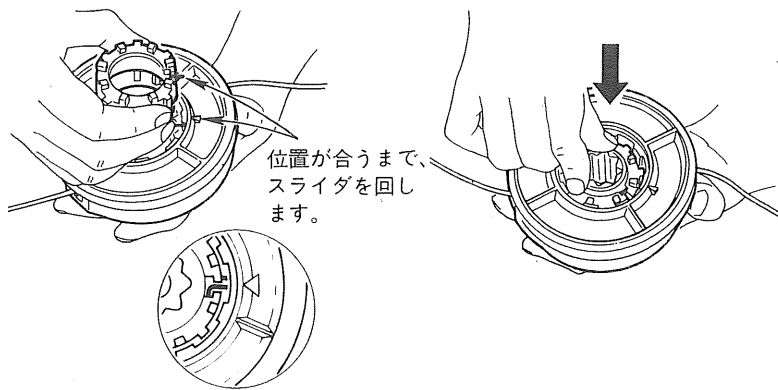
- リターン Springs の引掛部を、図のようにスライダの切欠き溝にセットしてください。



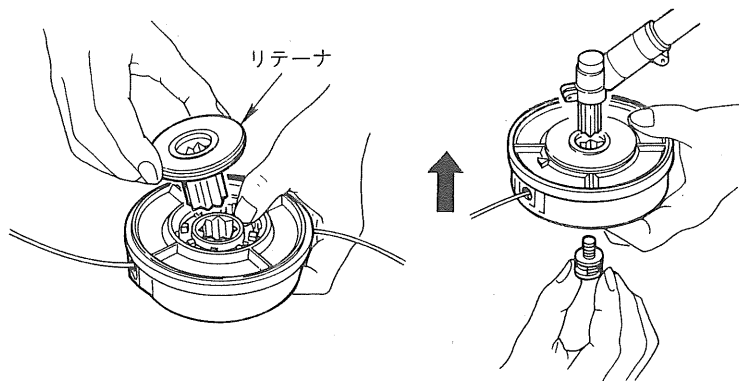
- スライダにリターン Springs を組み込んだあと、リターン Springs のもう一方の引掛部を、リールの▲部のついている溝に浅く入れてください。



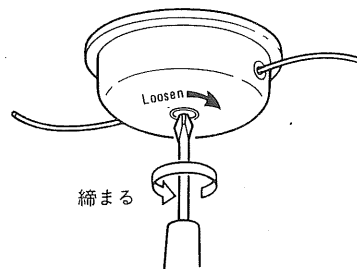
- スライダをリールから浮かせたまま、スライダを持ってリターンSpringをひねりながら、スライダの上部に引っ掛けてあるリターンSpringの先端も同じ▲部の溝の位置まで回してください。
- スライダを押し込んでください。
組み込み後、スライダが上下に自由に動くことを確認してください。



- ケース中心部にリテーナを挿入してください。
- 本機側に付いているシャフト部に取り付けてください。



- ケース底部にセットスクリュを差し込み、ケースの矢印と反対方向に締め付けてください。
- 取り付けが終了しましたら、ナイロンコードを引っ張ってたるみをなくしてください。
- スイッチを放した状態で、ナイロンカッターの底面を地面にはずませるように、2～3回軽く叩き付けた後、ナイロンコードを引いて正常にナイロンコードが出るか確認してください。



お手入れ

- 必ずスイッチを切り、電源コードをはずしてから行なってください。
- ケガを防止するため手袋をつけてください。
- 付着した刈りくずやドロは、乾いた布でふき取ってください。
ガソリン、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 保管はつぎのようなところでしてください。
 - ・直射日光が当たらないところ
 - ・高温にならないところ
 - ・湿気の少ないところ
 - ・雨がかからない屋内
 - ・小さいお子様の手が届かないところ
 - ・落下の恐れのない安定したところ

